

# 平成27年 宮城県内の火災概況（速報値※）

※総務省消防庁へ報告された火災情報を集計、確定値は例年8月頃に公表されます。

（平成27年1月1日から12月31日まで）

## 1 出火件数

平成27年の総出火件数は777件で、前年（846件）に比べ69件（8.16%）減少し、出火率（人口1万人当たりの出火件数）は3.34で、前年（3.64）に比べ0.3ポイント減少となりました。これは、県内で1日に約2.13件の割合で火災が発生していることになります。

月・四季別に見ると、5月の出火件数が100件（全体比12.87%）で最も多くなっています。また、平成27年の傾向として、暖房器具を使用する機会の多い冬期から春季にかけて火災が多く発生しています。

表1 月別出火件数

区分	月別出火件数												総出火件数	出火率	1日当たり出火件数
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
平成27年	84	59	92	72	100	58	58	50	44	66	44	50	777	3.34	2.13
平成26年	61	50	55	167	81	79	66	56	47	57	66	61	846	3.64	2.32
増減件数	23	9	37	△95	19	△21	△8	△6	△3	9	△22	△11	△69	—	—

（※出火率：人口1万人当たりの出火件数）

表2 四季別出火件数

区分		四季別出火件数				合計
		春季	夏季	秋季	冬季	
平成27年	件数	264	166	154	193	777
	全体比（%）	34	21	20	25	100
平成26年	件数	303	201	170	172	846
	全体比（%）	36	24	20	20	100

春季3～5月，夏季6～8月，秋季9～11月，冬季12～2月

図-1 月別出火件数（平成27年・平成26年）

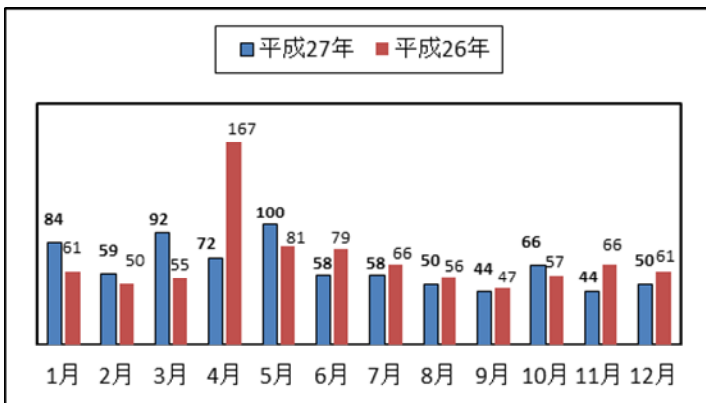
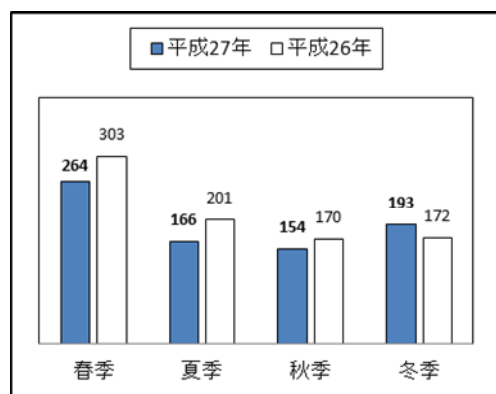


図-2 四季別出火件数



## 2 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 408 件（52.5%）と最も多く、次に、車両火災 81 件（10.4%）、林野火災 27 件（3.5%）と続いています。

表 3 火災種別出火件数

区分		火災種別出火件数						合計
		建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	
平成27年	件数	408	27	81	2	0	259	777
	全体比 (%)	52.5	3.5	10.4	0.3	0.0	33.3	100
平成26年	件数	449	44	90	1	0	262	846
	全体比 (%)	53.1	5.2	10.6	0.1	0.0	31.0	100
増減件数		△ 41	△ 17	△ 9	1	0	△ 3	-69

## 3 出火の原因

出火の原因の第1位は「放火」の 79 件、以下、「たばこ」の 73 件、「こんろ」の 62 件、「放火の疑い」の 47 件の順となっています。

表 4 出火原因別一覧表

順位	出火原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	放火	79	42	1	5	0	0	31
2	たばこ	73	31	4	4	0	0	34
3	こんろ	62	59	0	1	0	0	2
4	放火の疑い	47	19	5	1	0	0	22
5	ストーブ	40	39	0	1	0	0	0
5	電灯・電話等の配線	40	18	1	1	0	0	20
7	たき火	32	5	5	0	0	0	22
8	火入れ	29	0	2	0	0	0	27
9	電気機器	18	11	0	5	0	0	2
9	配線器具	18	13	0	2	1	0	2

## 4 死傷者

火災による死者は 28 人（うち放火自死者 8 人）で、前年の 40 人（うち放火自死者 12 人）に比べ、12 人減少しました。また、負傷者は 104 人で、前年の 120 人に比べ 16 人減少しました。

## 5 火災損害額

火災による損害額は、1,069,901 千円で、前年の 1,590,790 千円に比べ、520,889 千円減少しました。